

事業名:

中之島西公園

所在地:

北区中之島6丁目

目的:

中之島西公園は大阪の国際・文化・情報化などの新しい機能をもった中高層の建築物の整備に伴い、新しい都市景観の形成が進む中之島西部の西端に位置している。

また、中之島周辺は、水都大阪の再生に向けた様々な水辺事業が展開されている。これらの動きにあわせ、水辺を活かした緑地やオープンスペースを確保することにより、大阪のシンボルにふさわしい景観づくりを目指す。

また、本公園は都心部に位置し、ホテルや高層ビルの立ち並ぶ中之島西部地区に位置するため、都市景観の向上ならびに災害時における一時避難場所となる、防災公園としての機能充実を図る。

事業内容

・都市公園整備

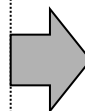
公園整備面積: 約0.63ha

社会経済情勢等の変化

(調書 3 ①)

事業開始時1978年(S53)

- 事業規模 約0.63ha
- 総事業費 約17億円
- 事業完了 昭和55年度
- 人口 269.4万人
- 公園数 593カ所
- 都市公園の市民一人当たり面積 2.28㎡/人
- 公園事業費 約87億円



現在

- 事業規模 約0.63a
- 総事業費 約54億円
- 事業完了 未定
- 人口 267.8万人
- 公園数 983カ所
- 都市公園の市民一人当たり面積 3.51㎡/人
- 公園事業費 約33億円

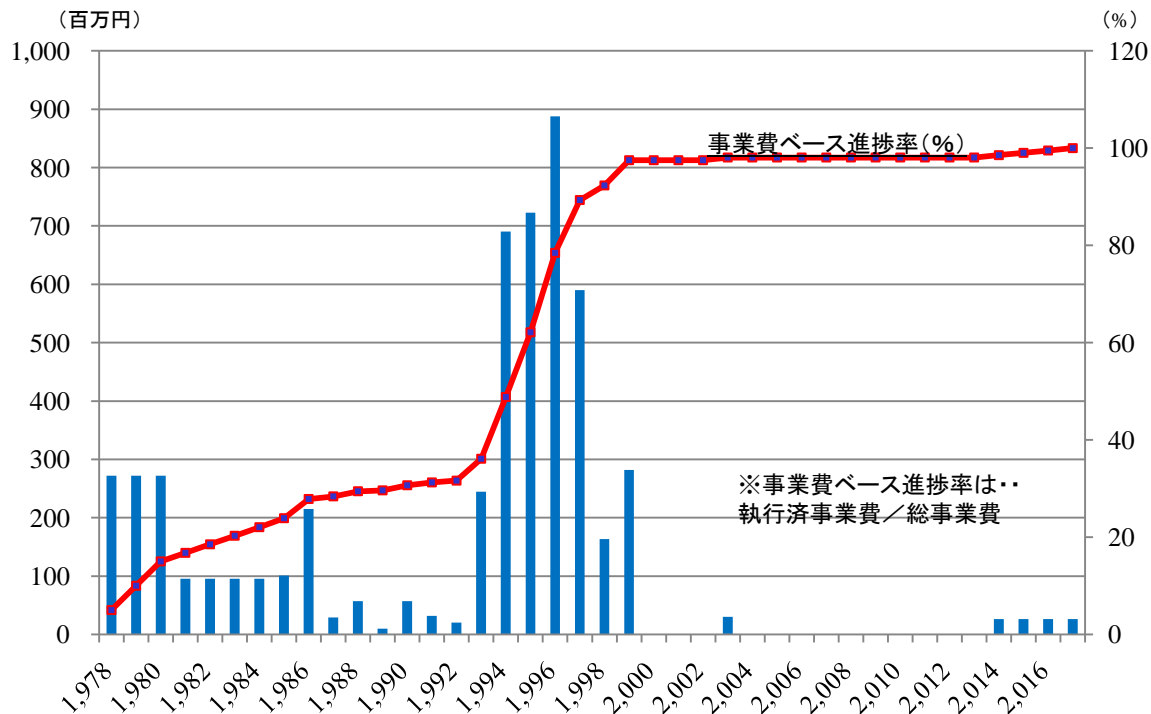


- ・本市の都市公園の市民一人当たり面積は3.51㎡/人(H25.4時点)で政令市平均6.6㎡/人の約半分となっており、政令市の中では最低値となっている。
- ・近年、地震等災害の多発や、ゲリラ豪雨等による都市型洪水への対応が課題となり、市民ニーズや防災ニーズが高まる中、公園事業の必要性、早期実現性は高まっている。

事業の進捗状況、今後の進捗の見込み

(調書 4 ①～⑤⑦)

進捗率の推移



残事業の内容

- ・用地買収 約0.03ha(残約4.8%)
- ・公園整備 約0.03ha(残約4.8%)
- ・残事業費 約1.1億円

今後のスケジュール(見込み)

- ・完了予定年度は平成29年度(前回評価時点は平成24年度)
 - ・用地取得済み区域の施設整備や地権者の買取要望に応じた用地買収により事業を実施
 - ・平成25年度は未整備区域の予算を確保
- ### 対応と解消の目処及びその根拠

- ・事業者公募による民間活力の利用を検討
- ・二次製品の積極利用による整備費低減・工期短縮
- ・フェンス等最低限の設備による公園の早期開設

事業が遅延した原因とその状況

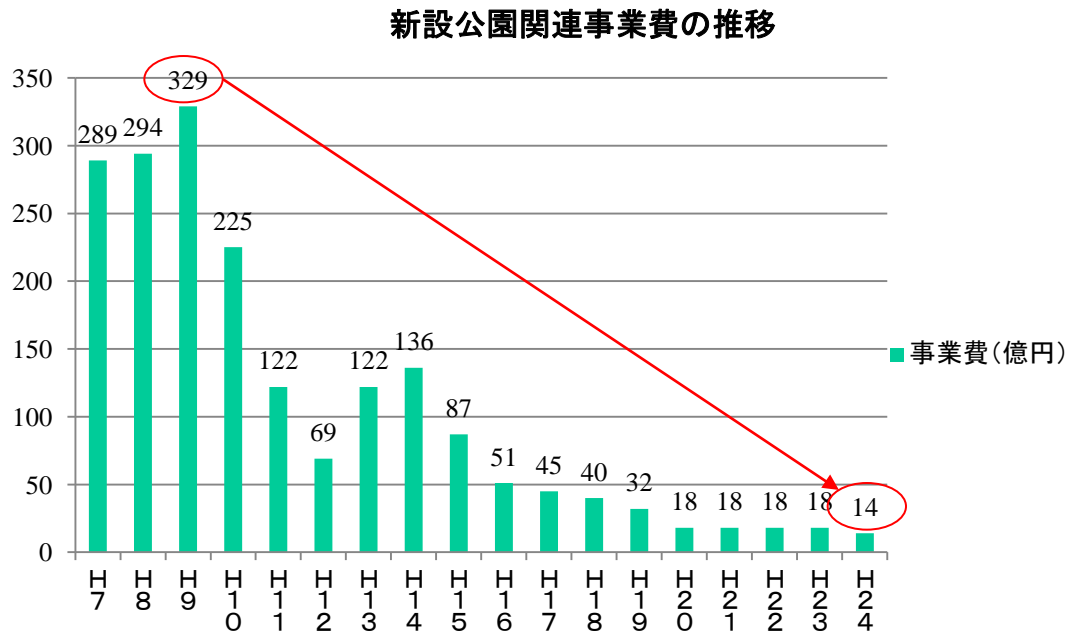
・厳しい財政状況の中で、新たな用地買収、施設整備に時間を要しているため。

(調書 4 ①～⑤⑦)

局運営方針等における本事業の位置づけ

局運営方針等における、本事業の位置づけはない。

事業費の推移

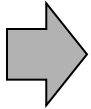


- ・今年度、南東部の未整備区域の整備予算を確保しており、これまで難色を示していた未取得用地部の地権者との交渉可能性がでてきている。
- ・残りの未取得用地についても、引き続き地権者の買取要望に応じた用地買収により事業を実施していく。

コスト縮減や代替案立案等の可能性

(調書 4 ⑥)

•コスト縮減策、代替案(と将来見込み)

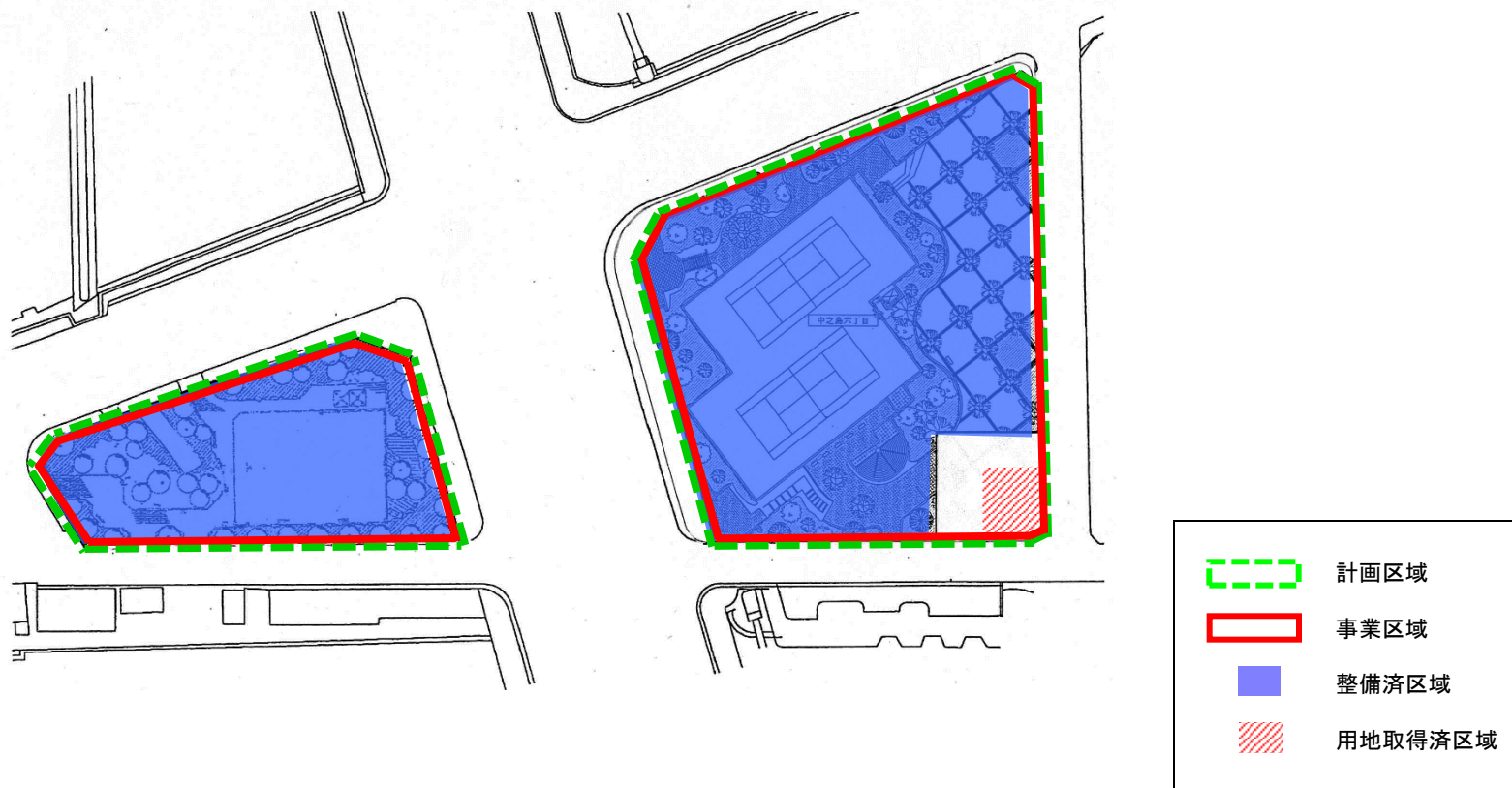


- ・現状を活かし、遊具等の設置ではなく、排水施設やフェンス等の最低限の施設整備による、公園の早期開設を検討する。
- ・縁石等の二次製品の積極利用による、施設整備費の低減と工期の短縮を図る。

中之島西公園位置図



中之島西公園事業の進捗



中之島西公園現況図

